



地元商店が協力してつくる『伊豆よろず便』事業、 経済産業省から IT 経営実践認定企業として認定！

伊豆市商工会青年部天城支部が企画している、地元商店が協力して生活必需品を宅配する『伊豆よろず便』事業。このたび、その事業母体である有限会社森島米店（森嶋昭仁社長 [29 歳]、0558-87-0009、伊豆市）が、経済産業省の主催する『中小企業 IT 経営力大賞』において『IT 経営実践認定企業』として認定された。

経済産業省は、本年度より中小企業の IT の利用・活用に取り組む意欲の向上を図ることを目的として、優れた IT 経営を実践しかつ、他の中小企業が IT 経営に取り組む際の参考となるような中小企業について、その功績を表彰する「中小企業 IT 経営力大賞」を実施している。

その中で IT 経営実践認定企業の認定は、IT 経営の実践内容が一定水準以上の企業に与えられる。業務全般に IT が活用され、そこから得られたデータを経営上の判断に利用し、企業内最適化又は企業間最適化が図られていると認められる企業として全国で 139 件（応募総数：429 件）が認定された。

（詳しくはホームページ参照）

<http://www.itouentai.jp/award/>

なお、静岡県では 3 社（株式会社サンロフト、株式会社シーエムエー、有限会社森島米店）が認定を受けた。認定企業は、上記ロゴマークを名刺等に使用できる。

「授賞式に行くまで、そんなにすごい賞だとは知らなかったんです」と森嶋社長。

2 月 21 日に虎ノ門パストラルホテルで行われた授賞

式では、甘利明経済産業大臣をはじめ、中小企業庁長官、全国商工会議所会頭などが出席した。



「伊豆よろず便は昨年 10 月のスタートから 5 ヶ月がたちました。当初 140 品しかなかったアイテムも今週、初期目標の 700 品を越え順調に進んでいます。4 月中旬から本格的な営業活動が始まる。IT 経営実践認定企業の認定は、伊豆よろず便事業の仕組みに対して国に評価を頂いたもので、とても嬉しい。これに満足せず努力を重ねていきたい。」

よろず便事業は外部からの評価が非常に高い。2 月 27 日には石川知事の知事公聴に呼ばれたり、3 月 13 日には伊豆市の土肥高校へ講演、3 月 17 日には宮城県女川町商工会青年部で講演が決定している。3 月 21 日には茨城県石岡商工会議所が視察に来る予定。「しかしまだまだ『よろず便』は歩き始めたばかり。伊豆市内での評価を高めていきたい」と意欲的だ。

ご担当者様へ

よろず便は 10 月の開始移行、営業活動を抑え、カタログ掲載商品の増加に努めてまいりました。ようやく 700 アイテムを越え、お客様に選んで頂ける楽しさを提供できるようになりました。今回は本格営業開始直前のプレスリリースとなります。商工会青年部が企画している本格事業として全国から注目を集め始めた本件、ぜひ取材をお願いいたします。

有限会社森島米店 代表取締役 森嶋昭仁

よろず便ブログ：<http://tds.jp/> TEL：0558-87-0009 携帯：090-3215-6799